



①「地域課題解決」の視点も重要だが、Society5.0による「生産性向上」「新産業創出」「産業集積」等、「新時代に対応した産業振興」の視点が極めて重要である。

②2030年以降の「理想の未来像」に向けて、当面、「成功事例として発信できる取り組み」や「種まきとなる仕組みや基盤作り」を優先して進める必要がある。

③道内での産学官連携や人材育成に加え、道外・国外の力を取り込みながら、Society5.0に関し北海道として世界に発信できる価値を創造していくべきである。

2019年12月13日 第2回北海道Society5.0懇談会

# Society5.0に関して考える取り組み事例

当面(来年度～)

中長期(～2030年)

人口減少・少子  
高齢化に伴う課  
題解決を産業に

健康長寿産業等の育成・創出

スマートコミュニティ関連産業の創出

産学官連携・人材育成の推進

産業振興条例の見直し  
(自動化等生産性向上に対応)

産業基盤・生産基盤の維持・高度化

北海道版Society5.0  
産業の創出

新時代に対応  
した産業振興



世界を相手に  
稼ぐ「食」

人手不足の中、特に食品製造業で急務

食関連産業SIerの育成

IoT活用による物流最適化

ドライバー不足の中、「食」の物流を支える

食関連産業の  
一層の振興



高速道路でのトラック隊列走行実証

トラック自動走行

自動走行



除雪車自動走行

国の冬道自動走行実証拠点の誘致

冬道自動走行  
開発拠点集積

バス自動走行

スマート農業



通信環境整備

リモートセンシング

営農支援サービスの利活用

スマート農業の  
普及・技術輸出

スペースポート整備の促進  
(整備運営会社支援)

衛星データ利活用

宇宙版シリコン  
バレーの形成



宇宙関連産業の誘致・創業支援

宇宙関連産業の  
集積

世界を相手に  
稼ぐ「観光」



多言語翻訳システム整備

Maas

宇宙観光

キャッシュレス決済推進

「交流人口の  
拡大」を推進

世界に発信する  
観光先進地形成

Wi-Fi環境整備

観光クラウド・観光ビッグデータ